

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部					
2-①	子育て支援を充実する		健康・こども部、学校教育部、社会教育部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
保育園の待機児童数	人	0	0	32	34	22	0	C
放課後児童クラブの待機児童数	人	2	27	10	4	0	0	A
関連事業								
○民間保育所施設整備支援事業○特別保育拡充事業○地域子育て支援推進事業○ファミリーサポート事業○民間保育所助成事業○民間保育所保育士確保支援事業○小児医療費助成事業○地域療育システム事業○こども発達支援室改修事業○放課後児童健全育成事業○母子保健事業○放課後等子どもの居場所づくり推進事業○ブックスタート事業○吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業○産科・小児科二次救急実施事業								
決算額								
	28年度	29年度	30年度	31年度				
事業費(千円)	2,628,247	1,750,670	2,190,481*					
執行率(%)	94.21	94.59	82.15*					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> 待機児童解消に向けて、保育所等の整備や保育士確保のための支援を行うとともに、一時預かりや病後児保育など特別保育を実施しました。また、放課後児童クラブを増設するとともに、ファミリーサポート事業の実施により、仕事と育児の両立等、子育てしやすい環境づくりを推進しました。 中学校卒業までの医療費助成、つどいの広場の増設、就学移行支援のための学校巡回相談、ブックスタートの実施のほか、「ひらつかネウボラールームはぐくみ」を開設し、妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない支援体制を整えました。 政策的医療を担う市民病院として、平塚・中郡地域で唯一、産科、小児科の二次救急患者を受け入れ、安心して産み育てることができる医療環境に貢献しました。 								

※ 「産科・小児科二次救急実施事業」の事業費については、当該事業に係る事業費のみを抽出できないため、事業費と執行率には含まれていません。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・待機児童解消や保育環境向上のため、状況に応じた的確な対応高まる保育需要への対応が必要です。また、各地区の学童保育のニーズの状況に基づき、施設の充実やファミリーサポート事業において、支援会員数を増やすことが必要です。
- ⇒民間保育所等に対し、定員拡大を伴う施設整備や小規模修繕の支援を行うとともに、保育士確保の支援や入所児童の処遇向上と地域間の均衡の保持を図るため、施設運営費等の助成を行います。また、学童保育の利用児童数の増加等の動きを注視し、必要に応じて既存の放課後児童クラブの分割等を進めるとともに、ファミリーサポート事業のPR活動を積極的に行います。
- ・ブックスタートの普及、子どもの発達に関する相談体制の充実、「ひらつかネウボラールームはぐくみ」の相談者の不安を軽減する必要があります。
- ⇒ブックスタート事業の目的や効果を具体的にPRするよう努めます。専門職・巡回相談員を増やすとともに、産後うつ対策として、産後デイサービス、産後メンタルヘルス相談などの産後ケアに取り組みます。
- ・市民病院において、小児・周産期医療を安定的に提供する必要があります。
- ⇒地域の医療機関との適切な役割分担や産科・小児科等のスタッフ確保などに努め、地域における小児・周産期医療を維持・継続します。